

社会資本総合整備計画

曾根地区 都市再生整備計画

平成25年11月19日

京都府 京丹波町

都市再生整備計画(第2回変更)

そね
曾根地区

京都府 きょうたんばちょう
京丹波町

平成25年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	京都府	市町村名	京丹波町	地区名	曾根地区	面積	245 ha
計画期間	平成 24	平成 26	年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 26 年度		

目標

大目標 京都縦貫自動車道丹波綾部道路の開通に合わせた本町の特性を活かした魅力的なまちづくり

- 目標1 丹波自然運動公園等の周辺環境を活かし、自然や歴史、地域の人々とのふれあいを楽しむことが出来る交流拠点としての機能を発揮する。
- 目標2 京丹波町各地の魅力を発信することで、町内への周遊や滞在を促し、地域活性化を図る。
- 目標3 基幹産業である農業振興による地域活性化を図る。
- 目標4 高速道路機能を活かした広域防災活動拠点としての機能を発揮する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 京丹波町は、京都府のほぼ中央部にあたる丹波高原の由良川水系上流部に位置し、町域面積303km²の農山村で、このうち約83%を森林が占め、この間を縫って耕地が広がり、集落が点在している。古くから、都と丹後・山陰地方を結ぶ交通の要衝として栄え、現在も京都縦貫自動車道(京丹波道路)やJR山陰本線をはじめ、国道9号、27号、173号などが交わり、京阪神など大都市圏へ1時間台で移動できるなど、比較的交通環境に恵まれた地域である。
- 本地区の周辺には、丹波ICや国道9号、27号が通り、周辺に役場本庁、中央公民館、ショッピングセンター等町の中心市街地を形成している。
- 京都縦貫自動車道丹波綾部道路は、平成26年度の供用予定であり、これにより国道9号などの一般道通行車の大部分が自動車専用道へ転化され、地域発展への影響が懸念される。そこで丹波PA(仮称)の整備に併せて、休憩ニーズと地域振興ニーズを結びつけた地域活性化の中心となる振興拠点施設の整備を計画している。
- 本施設では、「交流拠点」、「情報発信拠点」、「おいしさの拠点」という3つの役割を位置付けて、京丹波町の基幹産業である農業振興を基軸として商業・観光・雇用促進等に向け事業展開をしていく。
- また、豊かな自然や丹波自然運動公園などの地域資源を活用した都市住民との交流により本地区を拠点とした町の活性化を図っていく。
- 合わせて、大規模災害発生時には物資輸送の大動脈となる京都縦貫自動車道と直結した施設であるメリットから、高速道路機能を活かした広域防災活動拠点と位置付け、本町への物資輸送中継基地として利用できる施設整備を行う。

課題

- 京丹波町の農業を取り巻く現状・課題は、農業就業者の減少や高齢化など担い手不足が進み農業を取り巻く状況は厳しさを増している。消費者ニーズに対応した安全安心な生産体制の構築、地域ブランド化や観光情報発信拠点としての整備が不可欠である。
- 一般道を利用していた広域交通が自動車道へ転化し通過することで、地域活力の沈滞が懸念される。

将来ビジョン(中長期)

- 京丹波町の玄関口となる丹波PA(仮称)と一体的な地域振興拠点の形成
- 京丹波町総合計画では『玄関口エリアの形成』として、道路を利用して来訪する人々に対して、京阪神、府北部、山陰方面との道路交通の結節点という好条件を生かし、京都縦貫自動車道IC、各道の駅などを道路交通による丹波高原の玄関口として位置づけ、産業・交流活動等を推進を図るエリアとして位置付けている。
- 京丹波町都市計画マスタープランにおいては、『(仮称)丹波パーキング活用検討エリア』として、道路利用者の休憩機能のみならず、広域圏へのPR拠点、高速バスの乗降拠点、高速道路機能を活かした広域防災活動拠点など地域振興に寄与する機能を有する地区として位置付けている。

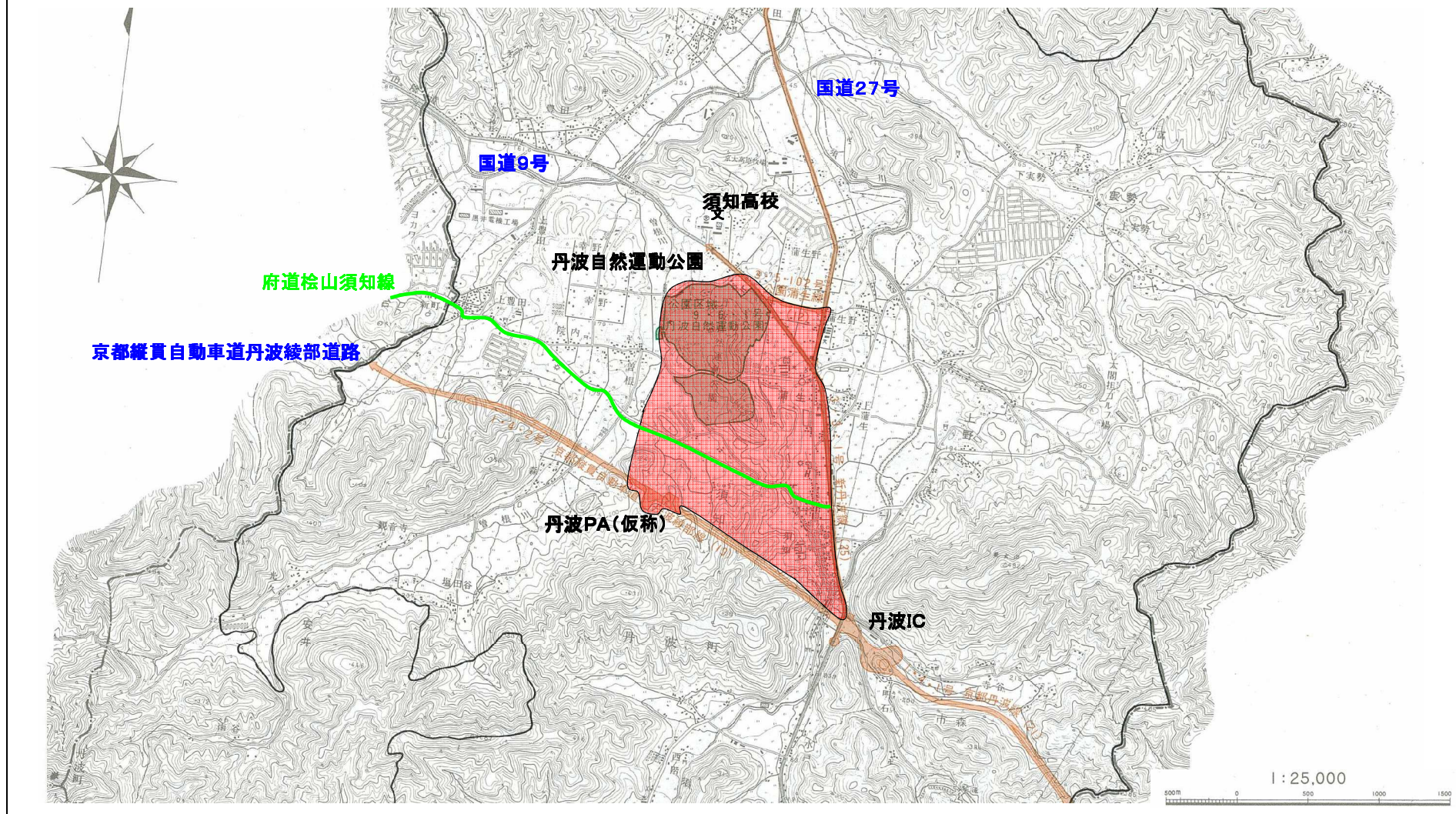
目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
1 町の交流人口	千人/年	京丹波町観光施設における年間交流人口	本施設を拠点とした観光のまちづくりを進め、年間交流人口の25万人増を目指す。	1,720	平成23年度	平成27年度
2 観光特産品数	品	町の特産品数	新たな町の特産品を開発、販売することで地場産業の活性化を図る。	12	平成23年度	平成26年度
3 イベントの開催回数	回/年	地域イベントの開催回数	地域コミュニティの促進を図り、地域の活性化を図る。	4	平成23年度	平成27年度
4 大規模災害時の救援物資輸送	人	救援物資中継基地の対象人数	大規模災害発生に備えて、地域の防災機能を向上させる。	0	平成23年度	平成26年度

都市再生整備計画の区域

曾根地区(京都府京丹波町)	面積	245 ha	区域	京丹波町曾根、須知、蒲生、豊田、院内の一部
---------------	----	--------	----	-----------------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



曾根地区(京都府京丹波町) 整備方針概要図

目標	大目標 京都縦貫自動車道丹波綾部道路の開通に合わせた本町の特性を活かした魅力的なまちづくり	代表的な指標	京丹波町の年間交流人口	(人/年)	1,720千人	(H23年度)	→	1,970千人	(H27年度)
	目標1 丹波自然運動公園等の周辺環境を活かし、自然や歴史、地域の人々とのふれあいを楽しむことが出来る交流拠点としての機能を発揮する。		京丹波町の特産品数	(品)	12	(H23年度)	→	14	(H26年度)
	目標2 京丹波町各地の魅力を発信することで、町内への周遊や滞在を促し、地域活性化を図る。		地域イベントの開催回数	(回/年)	4	(H23年度)	→	6	(H27年度)
	目標3 基幹産業である農業振興による地域活性化を図る。		救援物資中継基地の対象人数	(人)	0	(H23年度)	→	16,500	(H26年度)
	目標4 高速道路機能を活かした広域防災活動拠点としての機能を発揮する。								

